

私は4歳の子どもを持つシングルマザーです。

東京の会社で、管理職として1人で仕事と子育てを両立させてきました。

その中で私が絶対に諦めなかったこと、それは自分のキャリアです。

一家の大黒柱ということもあり、経済的に安定しなければいけないと焦っていたのもありますが、やっぱり私は欲張りなんです。

仕事も子育ても家事も趣味も勉強もおしゃれも……全部やりたいんです。

世間からはシングルマザーなんだから我慢しなさいと言われるかもしれませんが。

どうしてシングルマザーは我慢しないといけないんでしょうか？

シングルマザーだって1人の人間、母であり、女性でもあります。

自分の幸せを大切にすることで、キラキラした笑顔で過ごすことができます。それは子どもの幸せでもあると思うんです。

子どもはママの笑顔が大好きです。

私はすべてのシングルマザーに伝えたいことがあります。

「もっと欲張りになっていいんだよ」

「自分一人で抱え込まなくていいんだよ」

「頑張らなくていいんだよ」

私は会社で管理職として働いていましたが残業はありませんでした。すべては上司（経営者）、部下の方々の支えがあったからこそであり、心から感謝しています。

苦しいとき、どうしようもないとき、黙って耐えるよりも「SOS」をしつかり発信することが大切だと気づかされました。

自分から言わなければ誰も助けてはくれなかったと思います。

そして、世の社長様、世の上司の方々にお伝えしたいことがあります。

シングルマザーはいつ休むかわからない、子どもが病気で遅刻早退が多いから雇用したくない……確かにその通りです。

ですが、彼女たちは人並みの生活をするために必死なんです。

子どもという宝物を守るために自分を犠牲にして働いています。

正規雇用がなかなか見込めないために昼も夜もパートをしてなんとかぎりぎりの生活をしている

シングルマザーも少なくありません。

毎日真夜中に帰ってきて、土日のお休みは疲れ切ってぐったりしているママを見て子どもは笑顔を見せられるでしょうか？

ママは子どもに最高の笑顔をいつ向けられるのでしょうか？

シングルマザーは平均的なサラリーマンと同じぐらい稼がないといけません。

どうか、シングルマザーも正規雇用していただいて、子どもとママの時間を増やしてあげてほしいのです。

シングルマザーは日本の社会では就職困難者という位置づけです。

近い将来、一般の方と同じ扱いになっていることを期待して、この書籍を通じて私の思いを伝えていきたいと思っています。